

## 熊本からの報告

①

地方政治クリエイト

伊藤秀昭

## 余震続き、家に入れない

## 住宅崩壊が致命的

■走り回る民生委

熊本市に住む筆者の従妹(いとこ)一矢崎美代子さんは「あの長く続いた揺れは、怖くて怖くて



たまらなかった」と言い、それでも車の中では体が休まらないので、3日前から、覚悟を決めて家の中で寝るようになっている。食器棚が開かないようにしてあったので、食器が飛び出すことがなかったのは幸いだった。息子夫婦は家の外の車の中で夜を過ごしているが、疲れもたまってきた。民生委員の夫は、避難所からの食料品を配ったり、高齢者の励ましと掌握に走り回っている」とい

いようにしてあったので、食器が飛び出すことがなかったのは幸いだった。息子夫婦は家の外の車の中で夜を過ごしているが、疲れもたまってきた。民生委員の夫は、避難所からの食料品を配ったり、高齢者の励ましと掌握に走り回っている」とい

我が地域は食器が割れたりはしましたが、

大きな被害はありませんが、相交わらず国道や主要道路は渋滞しているようです。今は自治体職員が少しでも仕事ができるようにしてあげなければいけないと思っています。お年寄りが5、6時間掛かっていると

## 復興への動きも少しずつ始まる

先のお続く余震や先の見えない不安の中で、「熊本の友よ、がんばれ！負けるな」と奮闘を祈らずにおれない。

宇土市の芥川幸子議員は「住まいが壊れてしまっている人たちが、これからどうしたらいいかと力を落としている。高齢者や寝たきりのお年寄り、認知症の人などが避難所におられ、周囲の人たちが神経を使っている

熊本地震で被害を受けた益城町の様子

熊本地震で被害を受けた益城町の様子

熊本地震で被害を受けた益城町の様子

熊本地震で被害を受けた益城町の様子

熊本地震で被害を受けた益城町の様子